



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年8月4日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチレイ
 コード番号 2871 URL <https://www.nichirei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大櫛 顕也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大淵 正 TEL 03-3248-2165
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	138,054	△3.3	7,861	14.5	8,100	14.1	5,358	19.9
2020年3月期第1四半期	142,803	1.1	6,867	4.4	7,096	2.4	4,471	△3.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,858百万円 (△3.3%) 2020年3月期第1四半期 3,989百万円 (△21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	40.22	—
2020年3月期第1四半期	33.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	397,894	192,428	46.7	1,394.83
2020年3月期	390,004	191,388	47.3	1,384.90

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 185,827百万円 2020年3月期 184,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	585,000	0.0	31,500	1.5	31,500	△0.9	20,000	2.0	150.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	139,965,587株	2020年3月期	139,965,587株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	6,739,875株	2020年3月期	6,739,790株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	133,225,764株	2020年3月期1Q	133,266,651株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項や注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 注意事項」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概況

当第1四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による経済停滞により、急速に悪化しました。米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染症と共存する状況が続くなか、景気の先行きは極めて厳しい状況が続きました。また、わが国経済においても、輸出や消費の減少、企業業績や雇用環境の悪化など厳しい状況となりました。

食品業界では、外出自粛要請の影響による外食需要の落ち込みと内食需要の高まりに加え、訪日外国人の急減に伴うインバウンド消費の激減など、市場に大きな変化が生じ、その対応を求められました。また、食品物流業界においては、通信販売や個人宅配に関連する物流需要が高まるなか、労働力不足や車両調達コストなどの上昇に対応すべく、先端技術を活用した自動化や省力化への動きが加速しました。

当社グループは、生活を支える社会的基盤として企業活動を行うとともに、2年目となった中期経営計画「WeWill 2021」(2019年度～2021年度)を一層推進するため、経営環境の変化を的確に捉えながら「持続的な利益成長」と「豊かな食生活と健康を支える新たな価値の創造」の実現に向けた施策に取り組みました。

この結果、グループ全体の売上高は、外食向け販売の減少などにより、1,380億54百万円(前期比3.3%の減収)となりました。利益面では、生産性改善、業務効率化や経費抑制などにより加工食品事業と低温物流事業を中心にグループ全体の減収をカバーし、営業利益は78億61百万円(前期比14.5%の増益)となり、経常利益は81億00百万円(前期比14.1%の増益)となりました。

特別利益は19百万円となる一方、特別損失は、固定資産除却損など総額は1億85百万円となりました。

以上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は53億58百万円(前期比19.9%の増益)となりました。

《連結経営成績》

(単位：百万円)

	当第1四半期 累計期間	前期比	増減率(%)
売上高	138,054	△4,748	△3.3
営業利益	7,861	994	14.5
経常利益	8,100	1,003	14.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5,358	887	19.9

② セグメント別の概況

(単位：百万円)

(セグメント)	売上高			営業利益		
	当第1四半期 累計期間	前期比	増減率(%)	当第1四半期 累計期間	前期比	増減率(%)
加工食品	56,171	△2,009	△3.5	4,262	278	7.0
水産	12,415	△3,121	△20.1	△179	△147	—
畜産	20,352	△1,551	△7.1	261	△6	△2.4
低温物流	52,019	2,037	4.1	3,247	554	20.6
不動産	1,204	△29	△2.4	564	8	1.6
その他	1,283	113	9.7	△19	265	—
調整額	△5,392	△186	—	△275	40	—
合計	138,054	△4,748	△3.3	7,861	994	14.5

(イ) 加工食品事業

外出自粛要請から内食需要は急増し、家庭用はチキン加工品や米飯類などの主力カテゴリーを中心に販売が拡大しました。一方、外食需要は急減し、業務用は苦戦したことにより、加工食品事業全体では減収となりました。営業利益は経費の抑制や海外子会社の業績が寄与し増益となりました。

(単位：百万円)

	当第1四半期 累計期間	前期比	増減率(%)
売上高 計	56,171	△2,009	△3.5
家庭用調理品	17,139	1,785	11.6
業務用調理品	21,462	△2,972	△12.2
農産加工品	5,021	6	0.1
海外	9,151	41	0.5
その他	3,397	△870	△20.4
営業利益	4,262	278	7.0

(注) 海外は2020年1月から2020年3月までの累計期間

家庭用調理品

カテゴリー内で売上No.1の「本格炒め炒飯」や「特から」を中心に主力商品が内食需要の増加を受け、引き続き好調に推移しました。今春発売した「極上ヒレカツ」や「なんこつ入り鶏つくね」なども寄与しました。

業務用調理品

外食向けを中心に販売が減少しましたが、緊急事態宣言の解除後は惣菜向けを中心に回復傾向が見られます。そのようななか、大手ユーザー向けの取扱いが拡大し春巻類は伸長しました。

農産加工品

業務用が苦戦したなか、ブロッコリーなど「そのまま使える」シリーズなどの家庭用は好調に推移し前期並みとなりました。

海外

米国子会社のInnovAsian Cuisine Enterprises社において、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭用商品の取扱いが伸長しました。

(ロ) 水産事業

外出自粛要請の影響を受け、主力の「えび」を中心に外食・中食向けの販売が減少したことにより、減収・減益となりました。

(ハ) 畜産事業

輸入豚肉を中心に外食・中食向けの販売が減少したことにより減収となりましたが、生協・量販店向けの販売が増加したことなどにより利益は前期並みとなりました。

(二) 低温物流事業

物流ネットワーク事業や地域保管事業の売上げが好調に推移したことにより、海外事業の為替換算影響を吸収し増収となりました。営業利益は、保管事業において在庫が高水準で推移したことや、業務効率化に努めたことで増益となりました。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第1四半期 累計期間	前期比	増減率 (%)	当第1四半期 累計期間	前期比	増減率 (%)
国内小計	42,685	2,242	5.5	3,199	486	18.0
物流ネットワーク	25,340	813	3.3	1,265	257	25.5
地域保管	17,344	1,428	9.0	1,934	229	13.5
海外	8,924	△94	△1.1	268	71	35.9
その他・共通	409	△110	△21.2	△221	△3	—
合計	52,019	2,037	4.1	3,247	554	20.6

(注) 1 海外は2020年1月から2020年3月までの累計期間
 2 地域保管事業に物流ネットワーク事業の業務を一部統合

国内

巣ごもり需要の高まりを背景にT C (通過型センター) 事業の取扱いが拡大したことや、保管貨物の在庫量が高水準で推移したことなどにより増収となりました。利益面では増収効果に加え、業務効率化に努めたことや経費の抑制などにより増益となりました。

海外

欧州地域は果汁貨物の取扱いが拡大したことや、小売店向け配送業務などの運送需要を着実に取り込み現地通貨ベースでは増収・増益となりました。海外事業全体では為替換算影響もあり減収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明
 《資産・負債及び純資産の状況》

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	比較増減
〔資産の部〕			
流動資産	170,308	175,936	5,628
固定資産	219,696	221,957	2,261
資産合計	390,004	397,894	7,890
〔負債・純資産の部〕			
流動負債	108,419	114,028	5,609
固定負債	90,196	91,437	1,241
負債合計	198,615	205,466	6,850
うち、有利子負債 (リース債務を除く)	96,351 (80,669)	107,135 (90,609)	10,783 (9,939)
純資産合計 (うち自己資本)	191,388 (184,504)	192,428 (185,827)	1,039 (1,323)
D/Eレシオ(倍) (リース債務を除く)	0.5 (0.4)	0.6 (0.5)	0.1 (0.0)

(注) D/Eレシオの算出方法：有利子負債÷純資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より78億円増加し、3,978億円となりました。このうち流動資産は、季節的要因によるたな卸資産の増加などにより56億円増加し、1,759億円となりました。また、固定資産は、主力事業の収益基盤拡大に向けた設備投資などによる有形固定資産の増加に加え、投資有価証券の時価評価額が増加したことなどにより22億円増加し、2,219億円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末より68億円増加し、2,054億円となりました。このうち流動負債は、商業ペーパーの発行などにより56億円増加し、1,140億円となりました。また、固定負債は、繰延税金負債やリース債務が増加したことなどにより12億円増加し、914億円となりました。なお、有利子負債は未払費用や配当金、法人税等の支払いなどによる資金需要から107億円増加し、1,071億円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末より10億円増加し、1,924億円となりました。このうち自己資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益53億円の計上や配当金27億円の支払いにより利益剰余金が25億円増加したことなどにより13億円増加し、1,858億円となりました。

設備投資等の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	比較増減
設備投資等 (うちリース資産除く)	5,070 (4,452)	7,801 (5,955)	2,731 (1,503)
減価償却費 (うちリース資産除く)	4,460 (3,543)	4,666 (3,719)	205 (176)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループ全体の予想

新型コロナウイルス感染症の影響が継続するなか、新しい生活様式による経済活動が広がり、消費は徐々に回復していくと想定しておりますが、今後の状況については不透明な部分がありますので業績予想については四半期の進捗ごとにアップデートしてまいります。

当第1四半期までの実績を踏まえ、2020年5月12日付の「2020年3月期 決算短信」で公表しました2021年3月期の通期の連結業績予想を下記のとおり変更しております。

(単位：百万円)

		通期			
		予想	対前期比較		前回予想比
			増減額	増減率(%)	
売上高	加工食品	232,800	△1,981	△0.8	△5,200
	水産	59,000	△6,772	△10.3	△4,000
	畜産	91,000	2,672	3.0	—
	低温物流	213,100	6,603	3.2	3,600
	不動産	4,600	△365	△7.4	—
	その他	5,800	118	2.1	△500
	調整額	△21,300	△134	—	1,100
	合計	585,000	141	0.0	△5,000
営業利益	加工食品	17,000	274	1.6	—
	水産	0	△443	△100.0	△400
	畜産	1,300	394	43.5	—
	低温物流	12,100	275	2.3	500
	不動産	1,900	△82	△4.1	—
	その他	0	280	—	△100
	調整額	△800	△235	—	—
	合計	31,500	464	1.5	—
	経常利益	31,500	△277	△0.9	—
	親会社株主に帰属する当期純利益	20,000	390	2.0	—
	1株当たり当期純利益(円)	150.12			—

(注) 年間の為替レートは、1米ドル107円、1ユーロ115円、1パーツ3.5円を想定しております。

注意事項

この第1四半期決算短信に記載されているニチレイの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えることが予想されるリスクや不確実な要素には、以下のようものが含まれます。

1. ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢及び業界環境
2. 米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
3. 商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
4. 新商品・新サービス開発の実現性
5. 成長戦略とローコスト構造の実現性
6. ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
7. 偶発事象の結果 など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,933	26,352
受取手形及び売掛金	82,269	80,468
商品及び製品	39,201	41,715
仕掛品	889	1,108
原材料及び貯蔵品	7,843	7,876
その他	14,303	18,546
貸倒引当金	△131	△131
流動資産合計	170,308	175,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,682	76,792
機械装置及び運搬具(純額)	27,756	28,617
土地	36,007	35,948
リース資産(純額)	14,598	15,468
建設仮勘定	4,534	5,818
その他(純額)	2,653	2,562
有形固定資産合計	163,233	165,208
無形固定資産		
のれん	2,754	2,660
その他	6,397	6,375
無形固定資産合計	9,152	9,036
投資その他の資産		
投資有価証券	35,780	36,482
退職給付に係る資産	57	57
繰延税金資産	1,912	1,844
その他	9,828	9,582
貸倒引当金	△268	△254
投資その他の資産合計	47,310	47,713
固定資産合計	219,696	221,957
資産合計	390,004	397,894

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,521	24,681
電子記録債務	2,939	2,924
短期借入金	4,292	5,955
コマーシャル・ペーパー	2,000	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	956	907
リース債務	3,605	3,694
未払費用	34,893	28,797
未払法人税等	5,299	2,736
役員賞与引当金	228	55
その他	18,683	24,277
流動負債合計	108,419	114,028
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	33,420	33,746
リース債務	12,076	12,831
繰延税金負債	2,830	2,945
役員退職慰労引当金	175	154
退職給付に係る負債	2,014	1,947
資産除去債務	3,935	3,938
長期預り保証金	3,044	3,041
その他	2,698	2,830
固定負債合計	90,196	91,437
負債合計	198,615	205,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,359	30,359
資本剰余金	5,750	5,735
利益剰余金	156,953	159,514
自己株式	△17,642	△17,642
株主資本合計	175,421	177,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,016	9,713
繰延ヘッジ損益	802	656
為替換算調整勘定	△736	△2,510
その他の包括利益累計額合計	9,082	7,860
非支配株主持分	6,884	6,600
純資産合計	191,388	192,428
負債純資産合計	390,004	397,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	142,803	138,054
売上原価	118,646	113,822
売上総利益	24,156	24,232
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,465	4,504
販売促進費	334	368
広告宣伝費	1,263	534
役員報酬及び従業員給料・賞与・手当	4,560	4,663
退職給付費用	228	238
法定福利及び厚生費	876	1,160
旅費交通費及び通信費	595	269
賃借料	511	521
業務委託費	1,074	1,027
研究開発費	612	576
その他	2,766	2,506
販売費及び一般管理費合計	17,288	16,370
営業利益	6,867	7,861
営業外収益		
受取利息	37	25
受取配当金	395	353
持分法による投資利益	33	79
その他	159	112
営業外収益合計	626	571
営業外費用		
支払利息	205	190
その他	191	142
営業外費用合計	397	333
経常利益	7,096	8,100
特別利益		
固定資産売却益	4	6
投資有価証券売却益	—	12
特別利益合計	4	19
特別損失		
固定資産売却損	1	2
固定資産除却損	130	162
減損損失	6	16
その他	36	3
特別損失合計	174	185
税金等調整前四半期純利益	6,925	7,933
法人税等	2,193	2,312
四半期純利益	4,731	5,620
非支配株主に帰属する四半期純利益	260	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,471	5,358

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,731	5,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△279	695
繰延ヘッジ損益	△553	△183
為替換算調整勘定	55	△2,047
持分法適用会社に対する持分相当額	35	△227
その他の包括利益合計	△742	△1,762
四半期包括利益	3,989	3,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,582	4,136
非支配株主に係る四半期包括利益	406	△277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	加工食品	水産	畜産	低温物流	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	58,100	15,508	21,374	46,011	828	141,823	979	142,803	-	142,803
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	29	529	3,969	404	5,015	191	5,206	△5,206	-
計	58,181	15,537	21,904	49,981	1,233	146,838	1,170	148,009	△5,206	142,803
セグメント利益 又は損失(△)	3,983	△32	267	2,692	555	7,468	△284	7,183	△315	6,867

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、緑化管理・清掃関連サービスの事業を含んでおります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等△35,950百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益35,634百万円であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	加工食品	水産	畜産	低温物流	不動産	計				
売上高										
外部顧客への売上高	56,107	12,389	19,769	47,868	832	136,967	1,086	138,054	-	138,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64	26	582	4,150	371	5,196	196	5,392	△5,392	-
計	56,171	12,415	20,352	52,019	1,204	142,163	1,283	143,447	△5,392	138,054
セグメント利益 又は損失(△)	4,262	△179	261	3,247	564	8,156	△19	8,137	△275	7,861

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、緑化管理・清掃関連サービスの事業を含んでおります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等△4,393百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益4,118百万円であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

当社は、2020年7月21日開催の取締役会において、無担保社債の発行について以下のとおり包括決議を行いました。

- (1) 発行総額 10,000百万円以内
- (2) 年限 7年
- (3) 利率 社債償還年限に対応する国債利回り+1.0%以下相当の利率
- (4) 払込金額 各社債の金額100円につき金100円
- (5) 償還金額 各社債の金額100円につき金100円
- (6) 発行時期 2020年8月1日から2020年9月30日
- (7) 償還方法 満期一括償還
- (8) 資金の使途 設備投資資金及び社債償還資金

以上